様式第５号（教育実習実施計画に関する書類）

教　育　実　習　等　実　施　計　画

１　教育実習等の内容及び成績評価等

①　教育実習等の時期

〈中等教育実習Ⅰ・Ⅱ〉４年次５月～６月

②　教育実習等の実習期間・総時間数

〈中等教育実習Ⅰ〉中学校又は高等学校３週間（１２０時間）

〈中等教育実習Ⅱ〉高等学校２週間（６０時間）

③　実習校の確保の方法

〈中等教育実習Ⅰ・Ⅱ〉清心中学校・清心女子高等学校，岡山県立岡山大安寺中等教育学校の中から，大学が指定する実習校の承諾を得る。

④　実習内容

○生徒との関わりを通して，その実態や課題を把握する。そのうえで，その場に応じて集団や個別の指導を試みて適切に生徒と関わる。

○指導教員等の実施する授業を視点をもって観察して観察記録を記す。観察記録をもとにして，よりよい指導のあり方について協議をする。

○教育実習校の経営方針及び特色ある教育活動並びにそれらを実施するための組織体制を理解して，その一員としての役割を果たす。

○学級担任の役割と職務内容を理解して，補助的な役割を担う。

○学習指導要領及び生徒の実態を踏まえた適切な学習指導案を作成して，授業を実践する。

○学習指導に必要な基礎的技術を実施に即して身につける。その際，必要な場面で情報通信技術を利用して，効果的な活用の方法について考える。体験との関連を考慮しながら適切な場面で情報通信技術を利用して，効果的な活用の方法について考える。

⑤　実習生に対する指導の方法

教育実習担当者が実習校の指導教員と連携を図って，教育実習の計画を立案する。教育実習担当者は実習期間中に巡回指導を実施する。

⑥　実習の成績評価（評価の基準及び方法）

※　評価項目表，評価シート等がある場合は，本計画書に添付すること。

岡山県・岡山市教員等育成協議会で示された育成指標に基づく教育実習評価票をモデルとして本学における教育実習評価表を作成した。教育実習評価表をもとに，実習校指導教員が資料を作成し，資料を踏まえて教育実習担当者が評価を行う。（教育実習評価表添付）

２　事前及び事後の指導の内容等

①　時期及び時間数

〈中等教育実習Ⅰ・Ⅱ〉

時期　　４年次４月～１０月

時間数　１６時間（事前指導１２時間，事後指導４時間）

② 内容（具体的な指導項目）

〈中等教育実習Ⅰ・Ⅱ〉

事前指導 1 教育実習の目的，教育実習生としての義務と責任，法令遵守事項
2 生徒一人一人の良さを認めるやる気を引き出す方法（教科指導及び学級指導）
3 特別な配慮の必要な生徒との関わり方(教科指導及び学級指導)
4 学級担任及び教科担任の服務，協働の重要性と教育効果
5 学校現場の教育課題（ＩＣＴの活用等）と対応方法，事務処理とその必要性
6 教育実習に向けた実践課題の整理と確認

事後指導 1 教育実習の成果と課題の省察
2 望ましい教師像と取り組むべき課題の具体化

3 教育実習に関して連絡調整等を行う委員会・協議会等（以下「委員会等」という。）

① 大学内の各学部・学科等との連絡調整を行う委員会等

・委員会等の名称 教員・保育士養成カリキュラム委員会
・委員会等の構成員 教職課程主任（教職課程センター長）(1)，学務部長(1)，諸課程主任(1)，初等教育主事(1)，中等教育主事(1)，各学科の教職担当者(10)，事務局（学務部事務担当者）(4)
・委員会の運営方法 年２回開催。教員養成カリキュラム，教育実習等に関する協議。
【委員会の組織図】 別途添付のとおり

・委員会等の名称 教職課程センター会議
・委員会等の構成員 教職課程センター長（教職課程主任）(1)、中等教育主事(1)、初等教育主事(1)、コーディネーター(1)、事務局（学務部事務担当者）(1)
・委員会の運営方法 年３回開催。実践的な指導力向上等に関する協議。
【委員会の組織図】 別途添付のとおり

・委員会等の名称 教職課程中等連絡協議会
・委員会等の構成員 教職課程主任(1)，中等教育主事(1)，各学科の教職担当者(6)，教職課程センター事務担当者(1)，学務部事務担当者(3)
・委員会の運営方法 毎月開催。中等教育実習等，中等教職課程に関する協議。
【委員会の組織図】 別途添付のとおり

② 大学外の関係機関（例：都道府県及び市区町村教育委員会など）との連絡調整等を行う委員会等
（※学校体験活動を含む場合は，大学と学校との連携体制についても記載すること。）

・委員会等の名称 岡山県・岡山市教員等育成協議会
・委員会等の構成員 岡山県教育委員会(3)，岡山市教育委員会(1)，岡山市岡山っ子育成局(1)，市町村教育委員会代表(1)，教員養成大学担当者(16)
・委員会の運営方法 年１回開催。教員等育成指標，教育実習等，教員育成に関する協議。
【委員会の組織図】 別途添付のとおり

・委員会等の名称　　岡山市教育実習連絡協議会
・委員会等の構成員　　岡山市教育委員会(2)，教員養成大学担当者(9)，学校関係者(5)
・委員会の運営方法　　年１回開催。教育実習等に関する協議。
【委員会の組織図】　　別途添付のとおり

4　教育実習の受講資格

〈中等教育実習Ⅰ・Ⅱ〉

４年次開始時点で，以下に掲げる条件を満たしていること。

1　教員を志す者

2　心身ともに健康で，実習校の教育方針に従って教育実習に専念できる者

3　３年次終了時点で，全学共通科目及び学科の専攻科目において卒業に必要な単位の３分の２以上を修得済みであるとともに，「日本国憲法」「体育」「外国語コミュニケーション」「数理，データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作」の単位を修得済みの者

4「教科及び教職に関する科目」のうち，３年次までに設けられている必修科目をすべて修得済みの者

5　実習校

教育実習	体験活動		
		学級数の合計	中学校 21 学級，高等学校 26 学級
○	×	学校名	清心中学校（岡山県倉敷市二子 1200 番地）学級数：9　　生徒数：249 人
		教員数	17 人（内訳）副校長 1 人，教諭 12 人，講師 4 人
○	×	学校名	清心女子高等学校（岡山県倉敷市二子 1200 番地）学級数：14　生徒数：385 人
		教員数	43 人（内訳）校長 1 人，教頭 1 人，教諭 22 人，講師 18 人，養護教諭 1 人
○	×	学校名	岡山県立岡山大安寺中等教育学校（岡山県岡山市北区北長瀬本町 19-34） 学級数：24（前期課程 12 学級・後期課程 12 学級）　生徒数：941 人
		教員数	79 人（内訳）校長 1 人，副校長 1 人，教頭 1 人，教諭 55 人，講師 19 人，養護教諭 2 人

教 育 実 習 評 価 表

実習校	校名		実習生	大学名	ノートルダム清心女子大学
	指導教諭 氏名	㊞		学科・学年	学科　年
				学籍番号	番
				氏名	

項目別評価　下記の評価項目について，該当するものに○印を付けてください。
Ａ：特に優れており，教育実習生として十分な取組がみられた。
Ｂ：概ね優れており，教育実習生として十分な取組がみられた。
Ｃ：課題はあるものの，教育実習生として改善しようとする取組がみられた。
Ｄ：教育実習生としての取組が不十分であった。

	領域	資質能力	評価項目		行動規準	評価
求める資質能力	基盤となる資質	教員としての使命感と教育的愛情に適う自らの教育を高めて考えをもち，自ら感性と意欲を高める	教育者としての強い使命感と情熱，豊かな教育的愛情		教育者にふさわしい姿勢（強い使命感と情熱，豊かな教育的愛情）で，本気で生徒と関わることができる。	A B C D
					生徒一人一人の良さを認め，やる気を引き出すことができる。	A B C D
					新たな教育課題（ICT を用いた指導法，道徳教育の充実等）に関心を持ち，意欲的に学び続けることができる。	A B C D
			教員としての態度		気持ちのよいあいさつ，身なり，言葉遣い，時間厳守等，規律正しい言動を実践することができる。	A B C D
					指導教員の助言を前向きに受け入れることができる。	A B C D
					教員の学級経営や生徒との接し方を観察し，自分の指導に生かすことができる。	A B C D
					実習日誌の提出などの事務処理を滞ることなく行うことができる。	A B C D
					教育実習生という立場で，チームの一員として協働して取り組むことができる。	A B C D
					法令遵守に関わる知識・態度・言動が身に付いている。	A B C D
	確かな指導力	実践的指導力の基礎となる知識等	学習指導	学習指導要領の理解と授業づくり	学習指導要領をもとに，教材研究を意欲的に行うことができる。	A B C D
				指導計画の作成と指導の方法・技術	教材研究を踏まえて学習指導案を作成することができる。	A B C D
					作成した学習指導案に沿って適切に授業を進めることができる。	A B C D
				学習規律の確保	学習の基盤となる学習規律を踏まえて授業を進めることができる。	A B C D
				授業改善	自他の授業を検討し，授業改善に生かすことができる。	A B C D
			学級（ＨＲ）経営・生徒理解		特別支援教育や教育相談の基礎的・基本的な知識・技能を活用して生徒に接することができる。	A B C D
					適切な生徒理解に基づいて，望ましい集団づくりができる。	A B C D
					学級（HR)の規範意識を高め，教室環境の整備等を積極的に行うことができる。	A B C D

実習教科	実習期間	出勤日数	欠勤日数	遅刻回数	早退回数	担当授業時間数
	自令和　年　月　日 至令和　年　月　日	日	日	回	回	教　科　時間 特別活動　時間 そ の 他　時間

総合所見

総合評価（○印を付けてください）

優　＝教員として優れた適性を有している。
良　＝教員として適性を有している。
可　＝努力を要する。
不可＝教職に適していない。

評価	優	良	可	不可

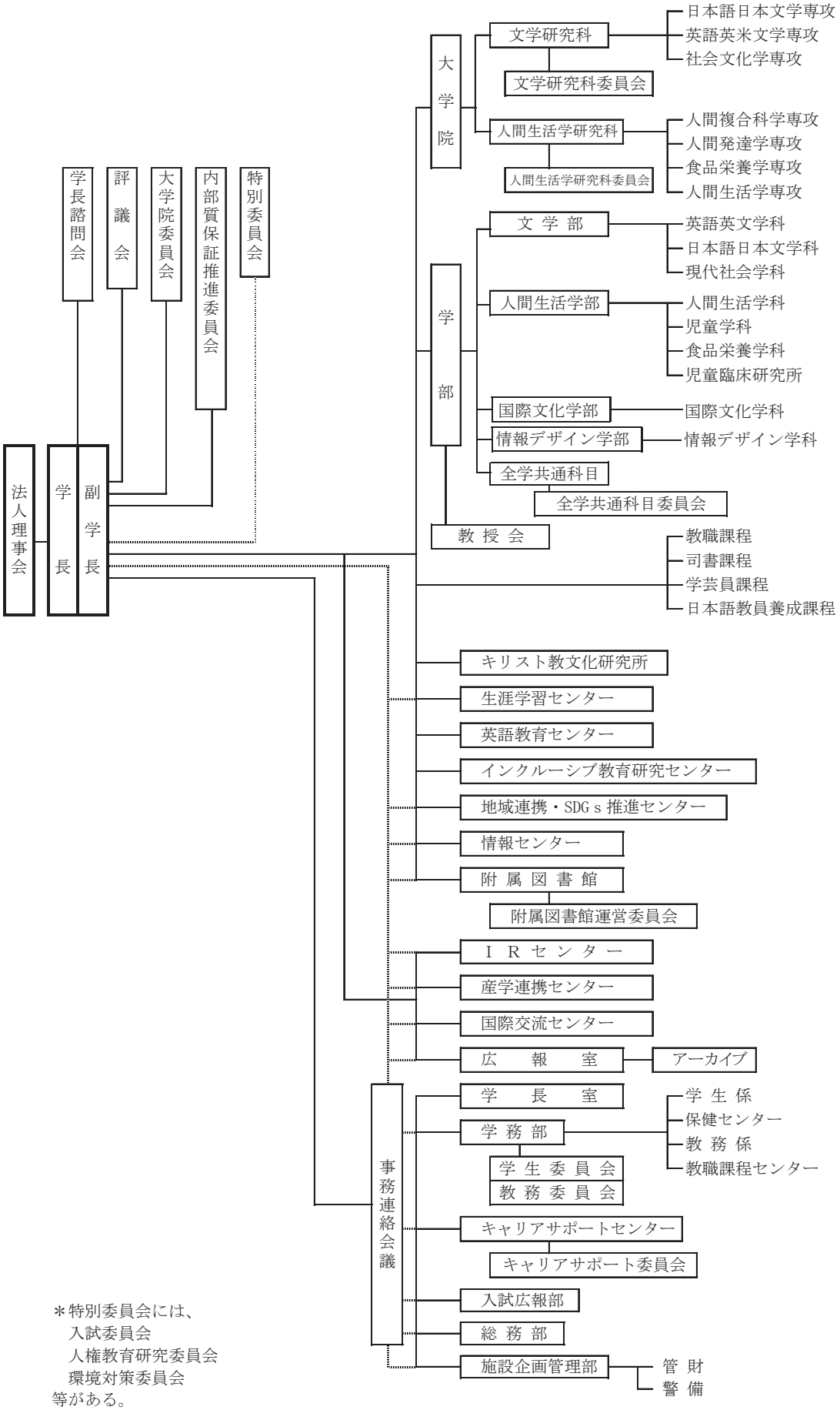
令和　　年　　月　　日　　学校名

校長名　　印

コード番号 301－001

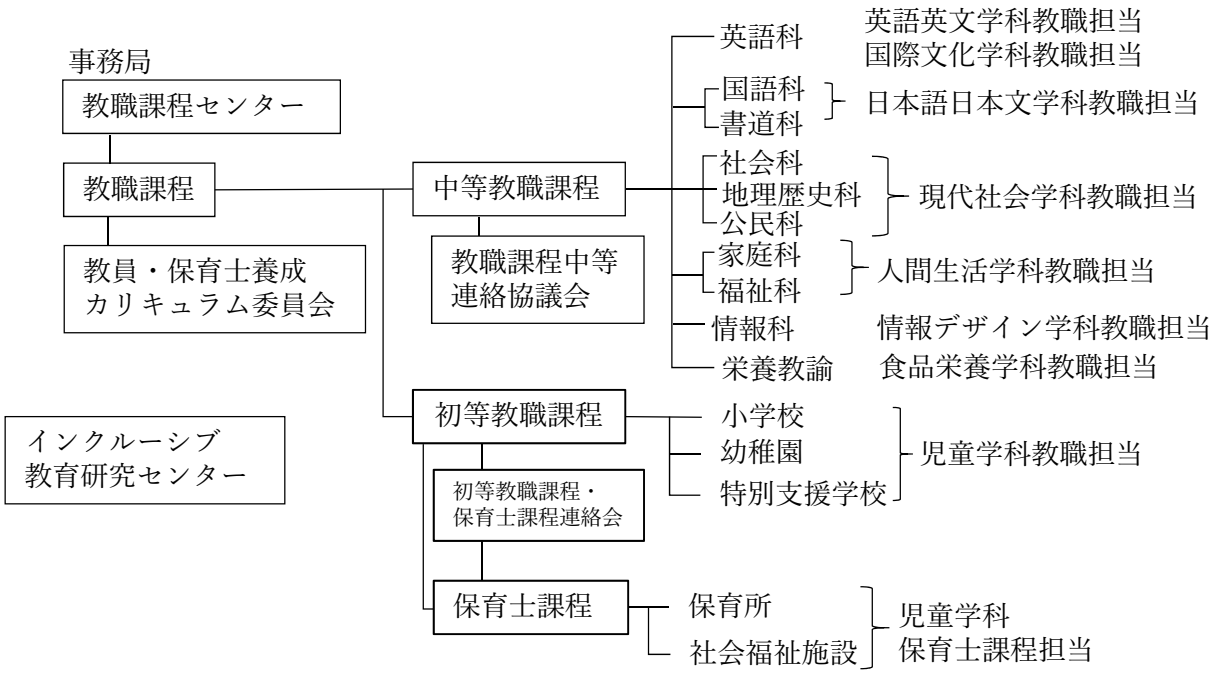
ノートルダム清心女子大学運営組織（計画案）

（２０２４（令和６）年 ４月 １日現在）



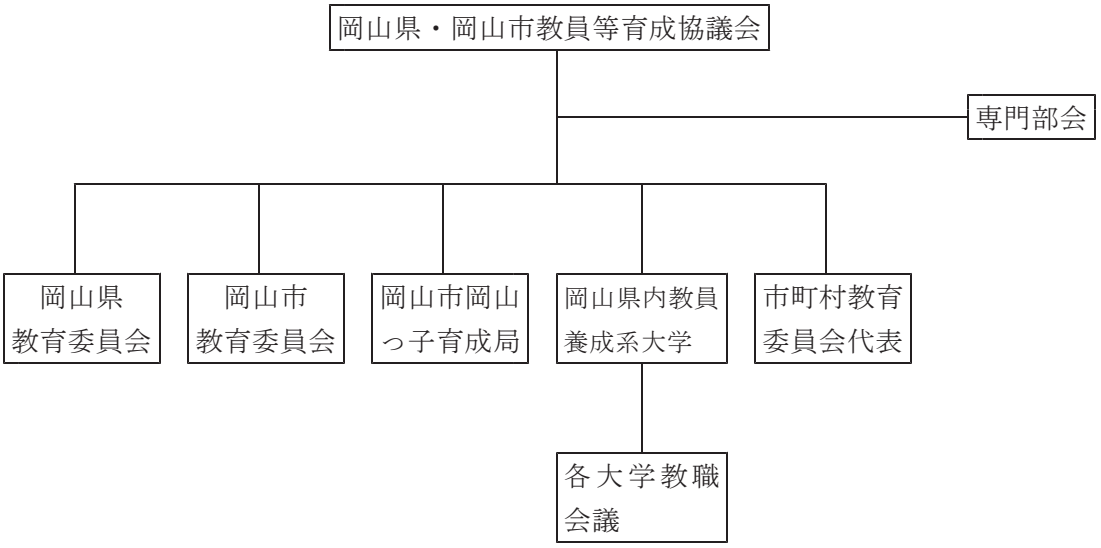
＊特別委員会には、
入試委員会
人権教育研究委員会
環境対策委員会
等がある。

教職課程に関わる組織

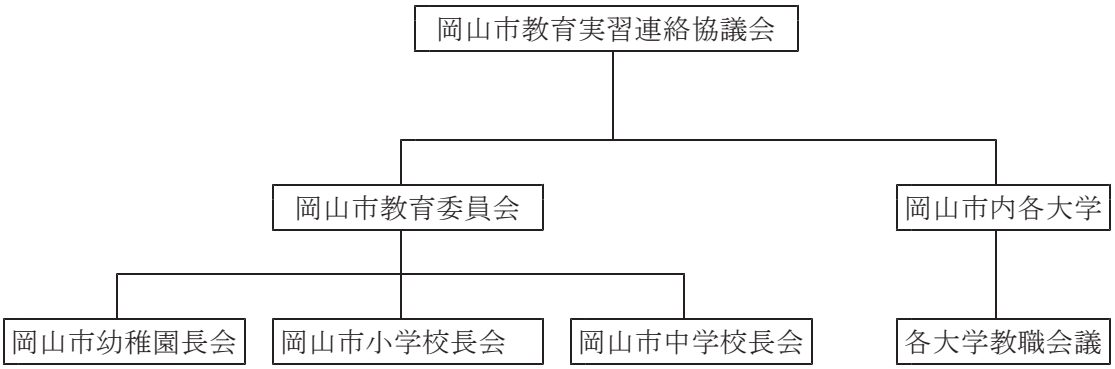

事務局
教職課程センター
教職課程
教員・保育士養成
カリキュラム委員会
インクルーシブ
教育研究センター
中等教職課程
教職課程中等
連絡協議会
初等教職課程
初等教職課程・
保育士課程連絡会
保育士課程
英語科
英語英文学科教職担当
国際文化学科教職担当
国語科
書道科
日本語日本文学科教職担当
社会科
地理歴史科
公民科
現代社会学科教職担当
家庭科
福祉科
人間生活学科教職担当
情報科
情報デザイン学科教職担当
栄養教諭
食品栄養学科教職担当
小学校
幼稚園
特別支援学校
児童学科教職担当
保育所
社会福祉施設
児童学科
保育士課程担当

②大学外の関係機関との連絡調整等を行う委員会の組織図

岡山県・岡山市教員等育成協議会



岡山市教育実習連絡協議会



教育実習受入承諾書

令和５年１月２７日

ノートルダム清心女子大学
学　長　　津　田　　葵　殿

清心中学校・清心女子高等学校
校長　松　沢　克　彦

貴学が行う中学校教諭一種免許状及び高等学校教諭一種免許状取得に係る教育実習（中等教育実習Ⅰまたは中等教育実習Ⅱ）について，下記のとおり実習を受け入れることを承諾します。

記

１　実習先
清心中学校・清心女子高等学校（岡山県倉敷市二子 1200 番地）

２　受入れに係る学部学科・免許種類
国際文化学部国際文化学科…中学校教諭一種免許状（外国語（英語））
高等学校教諭一種免許状（外国語（英語））
情報デザイン学部情報デザイン学科…高等学校教諭一種免許状（情報）

３　受入時期
毎年 5 月から 6 月までの 3 週間（又は 2 週間）

教育実習受入承諾書

令和５年１月２７日

ノートルダム清心女子大学
学長　　津　田　　葵　殿

岡山県立岡山大安寺中等教育学校
校長　竹　内　成　長

貴学が行う中学校教諭一種免許状及び高等学校教諭一種免許状取得に係る教育実習（中等教育実習Ⅰまたは中等教育実習Ⅱ）について，下記のとおり実習を受け入れることを承諾します。

記

１　実習先
岡山県立岡山大安寺中等教育学校（岡山県岡山市北区北長瀬本町 19-34）

２　受入れに係る学科・免許種類
国際文化学部国際文化学科…中学校教諭一種免許状（外国語（英語））
高等学校教諭一種免許状（外国語（英語））
情報デザイン学部情報デザイン学科…高等学校教諭一種免許状（情報）

３　受入時期
毎年 5 月から 6 月までの 3 週間（又は 2 週間）